

# ブレードサーバの削減効果を あなたのビジネスへ。



仮想化ソフトウェア「VMware」との組み合わせによるリソース有効活用

「削減効果診断」実施中！

## ブレード+VMwareによる削減効果

- ブレードサーバとVMwareによる効率的なサーバ集約で物理サーバ台数を削減！
- 物理サーバ台数の削減によるマシンルーム等への設置スペース・消費電力の削減！
- さらに運用管理ツール（バックアップ、リカバリ等）の活用で管理工数も削減！

## ■ 仮想化技術（VMware）の適用シーンとサーバ集約イメージ

オフィス利用からデータセンターに至るまでのPCサーバを最適化に向け、ブレードサーバとVMwareの組み合わせによりITサービスレベルの向上を実現する先進の技術を提供いたします。

### サーバ統合/集約への適用

部門ごとに散在する、PCサーバを集約し管理したい。

**課題**

- 部門レベル・役割ごとに多くのサーバを抱え、リソースに無駄があり、かつ管理コストも高い。
- さまざまな要因やしがらみがあり、タイムリーに新しいシステムを導入することができない。

**PRIMERGYとVMware®を組み合わせることで解決！**

- 異なる機種やOSを仮想化技術により最新のサーバに集約することで、リソースを有効活用できるだけでなく、管理コストも削減します。
- サーバの仮想化により、フレキシブルなプラットフォームを実現し、システム導入が容易になります。

### 古いシステムの移行/継続利用

使い慣れたシステムを捨てられない。

**課題**

- 耐用年数が過ぎたハードウェアで資産を運用しているが、移行が大変。

**VMware®を使って旧システムを仮想化することで解決！**

- 最新のハードウェアで既存のOSおよびソフトウェア環境をそのまま活用できるため、システムの使い勝手を維持することができます。
- 最新のハードウェアで旧OS資産を一時的に使用することで、時間をかけて慎重にシステムを移行できます。

### 開発/テスト環境への適用

繰り返される開発サイクル。テスト環境の構築が大変。

**課題**

- 開発のために検証サーバを手配しているため、開発作業を開始するまでに時間がかかる。
- マルチプラットフォーム環境のため、プラットフォームごとにテストを実施するのが大変。
- 繰り返されるテスト環境の再構築に時間がかかる。

**VMware®のテンプレート機能を活用することで解決！**

- テスト環境を仮想化することで、いつでも開発作業を開始できます。
- 種類の異なる複数のOSを同時に稼働できるため、マルチプラットフォーム環境でも、効率的にテストを実施できます。
- テンプレートに保存された環境を再利用することで、テスト環境を再構築する手間を省きます。

■ テスト環境から本番環境までの開発工程

初回構築時のみ必要な工数 (Initial build only requires effort)

異なるプラットフォームごとに必要な作業 (Required work for different platforms)

### 業務継続性の向上

災害等で業務がストップするのを防ぎたい

**課題**

- 全システムをクラスタリングするにはコストがかかり過ぎる。

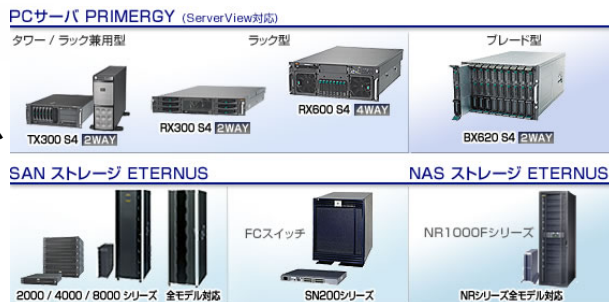
**VMware®のHA機能によりシステムダウン時間を軽減！**

- 本格的なクラスタシステムを構築せず、コールドスタンバイ相当の可用性を提供します。
- サーバダウン時には自動で別のサーバに仮想システムを再起動するため、システムの停止時間を抑えることができます。

# 富士通が提供するソリューション・優位性

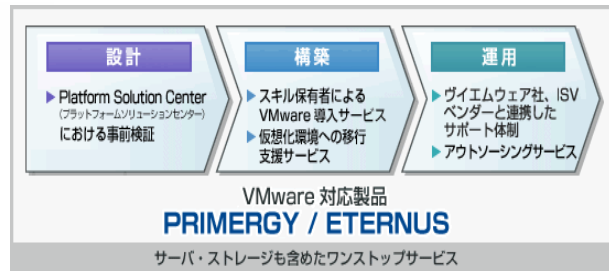
## VMware認定ハードウェア

VMwareを用いて、たくさんのサーバを1台に集約して快適に利用するには、高性能/高信頼なプラットフォームが必要です。当社は、PCサーバ「PRIMERGY」とストレージシステム「ETERNUS」でVMware社の認定を受けており、安心してVMware環境をご利用頂けるシステムをご提供いたします。



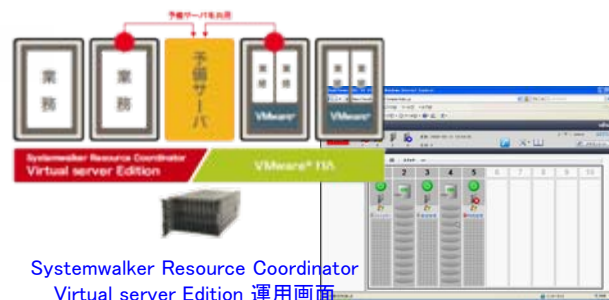
## 安心してVMwareシステムをご利用いただくために

VMwareシステムをご検討・導入いただくすべてのフェーズで以下のご支援をいたします。  
**【導入検討】**検証センターのご利用(無償)  
**【構築】**導入支援サービスのご利用  
**【運用】**サーバ/ストレージ/OS/VMware/ISVソフト等ワンストップサポート



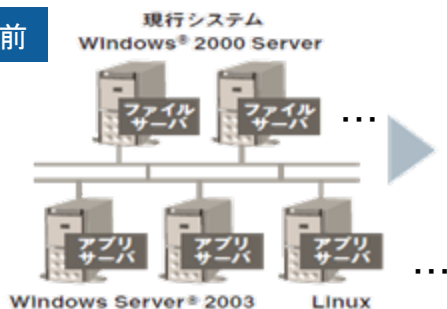
## 物理環境と仮想環境の一元管理と可視化

Systemwalker Resource Coordinatorとの組合せにより物理OS、VMware ESXおよびゲストOSの3種類を1つの画面上で一括して管理することができます。さらに、予備サーバを物理、仮想を問わず利用できるため、低コストで高可用なブレードサーバシステムを実現します。

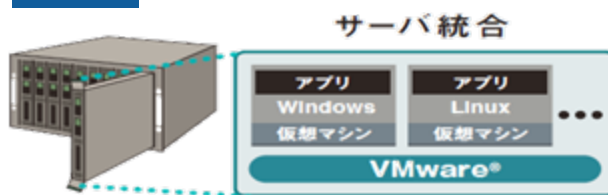


## サンプル構成での削減効果(例)

### 集約前



### 集約後



- 既存の業務サーバ30台
- バックアップは個々に取得

- ブレードサーバ4台に仮想化ソフト(VMware)を導入し、30業務サーバを集約
- バックアップサーバを導入し運用を一元化

### 削減効果

移行元サーバ	⇒	移行先サーバ
サーバ台数: 30 台		サーバ台数: 4 台
消費電力: 13725 W		消費電力: 1800 W
ストレージ総使用量: 1200 GB		サーバ台数: 26 台削減
		消費電力: 11925 W削減
		CO2: 87 %削減
		電力料金 (5年間): 5,708,902 円削減

※電力料金は、10.93円/kWhとして算出。(平成15年版電気事業便覧:業務用電力電力量 料金(東京)より)    
 なお、電力料金は時期や地域によって変わりますので、ご注意願います。

### ご参考価格

**15,709千円**

※ブレードサーバハードウェア、VMware・ライセンス、ゲストOSライセンス価格のみ(一部、推定小売価格を含む)

・VMware、VMware HAはVMware,Incの米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
 ・Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

製品・サービスについてのお問い合わせは  
 富士通コンタクトライン 0120-933-200  
 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社  
 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター  
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>